

川の思ひ出

中澤 葉瑠奈

これは私が何才の時だろう。たしが、六才くらいの時、私がまだ六才だから保育園にいたころのはなしです。私がいつものように保育園までお母さんに送ってもらって、いつものように遊んでいると、もうすぐお正月だから、たこあげでも作るうかと先生が言っていて、みんなで一人一人のたこあげを作ることになり、私は、先生に教えてもらって、通りにまず大きな紙に

自分の好きな絵を書いて色をぬって完成。あとばかりはしとがでたこの形を作って自分の書いた絵をはって完成。私は大喜びして先生に上手く出来たって自まんしたりして、いきました。それで保育園の中で、ちよとだけ遊んだり友達と遊んだりしました。私はその自分で作って、たにこが気に入ったみたいで、お母さんがおむかえにきた時も、と上手でした。すごいでした。と自まんばかりして、いきました。私はまだたにこで遊んで、たにこのお家の中にも遊んで、い



たり、お母さんが家の中をありされるのはいい
わだからお母さんはマニョニの近くの中川
のとてでたこあげしたらと言ってお母さんと
とてでたこあげをしていました。私はうれし
くて、と遊んでいたらとつせんすごい強い
かせがきて私がもっていったこあげがとばさ
れて、中川のどての中にハッて流れてしまっ
たんです。その当時は私はショックです。こ
泣いていました。今、その思い出を思いだ
すとかゆいそうだけ。なんがおもしろいなと
思いました。また今度たこあげを作った風
がきつもとばされないようにちゃんとにぎろ
うと思いました。

